

観光問題

問 観光スポットのひろがり

答 点と点を繋げ、面の広がりに



太田伸子議員

【賑わいのある村づくり】

問 白馬尻まで中高年の方々が気軽にトレッキングでできるような道路整備の計画は。

村長 中高年層の登山者が多く見受けられることから、歩きやすく、短時間で大雪渓まで行くことができるようになるれば、登山客や大雪渓までのトレッキングの増加に繋がると考えられます。登山道路整備ができればとの想いはありますが、地形的にも困難な箇所でもあり、「治山運搬道」として借地している条件変更や国立公園という区域の

中での規制などクリアすべき課題もあります。

問 白馬には数知れない観光スポットがある。横のつながりを広げ、おもてなしに村全体が一体となることが大切だと思うが。

村長 村にはその恵まれた自然環境のもと素晴らしい観光素材が存在しています。素材を活用し、花で云えばそれぞれ地域が主体となって福寿草、ざぜんそう、かたくり祭が実施され春の花めぐりとして、夏には「白馬花三昧」と題して高山植物、山野草、ゆりなど、村内各所を結んだイベントとして開催しています。

観光振興には村ぐるみでお客様をもてなすことは当然であり、観光に携わる各団体が連携し、点と点を結び、さらに面への広がりにつなげて村を盛り上げて参りたいと考え

ております。

【公共事業について】

問 公共事業は地元業者を活用すべきでは。

村長 原則として指名競争入札により受注者を決定しています。指名業者の決定には村内に本社があることを要件の一つとして選定しています。予定価格250万円以上の土木建築工事の状況であれば、特殊な工事以外は村内業者のみの指名となっています。

問 補助金が交付された工事は地元業者を使うことを条件とすべきでは。

村長 民間の取引に対して村は中立の立場でありま



開山祭（貞逸祭）記念登山 平成22年5月22日 (写真提供：白馬村観光局)

ると補助金の原資が税金であったとしても、適当でないと考えます。

問 資材を地元業者から購入することを指導できないか。

村長 村内業者に限定するとなると村単独で資材単価の調査が必要となり、職員の増員や調査委託料など新たな費用が発生することなどから、妥当でないと考えます。